

大阪市立大学大学院経済学研究科

経済格差研究センター研究員

大西 祥 恵

表1 問1 年齢はおいくつですか

	人数	割合
20歳未満	0	0.0
20-24歳	0	0.0
25-29歳	0	0.0
30-34歳	2	2.0
35-39歳	1	1.0
40-44歳	2	2.0
45-49歳	2	2.0
50-54歳	18	18.2
55-59歳	24	24.2
60-64歳	36	36.4
65-69歳	10	10.1
70-74歳	4	4.0
75歳以上	0	0.0
有効回答者数	99	100.0
不明	0	
合計	99	

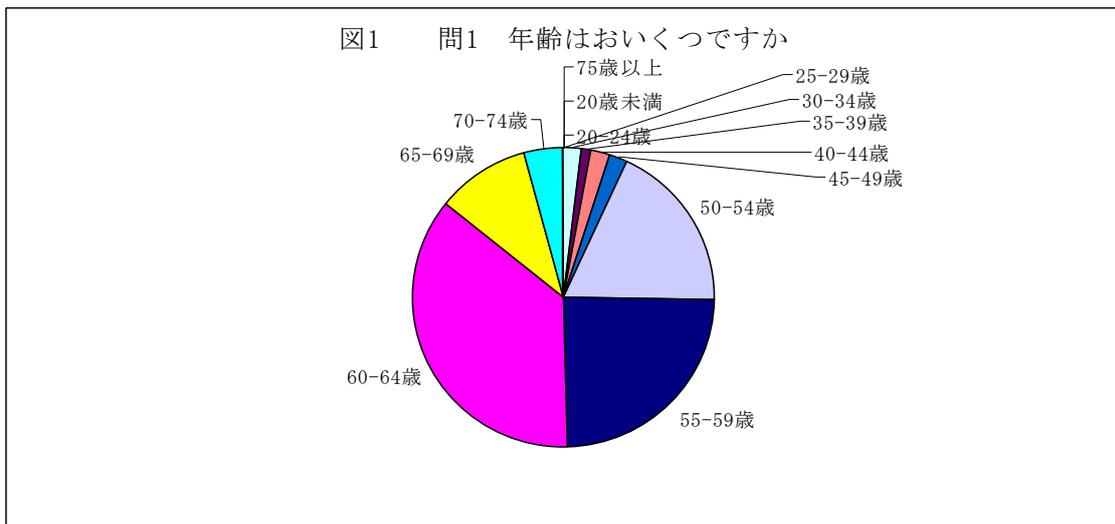
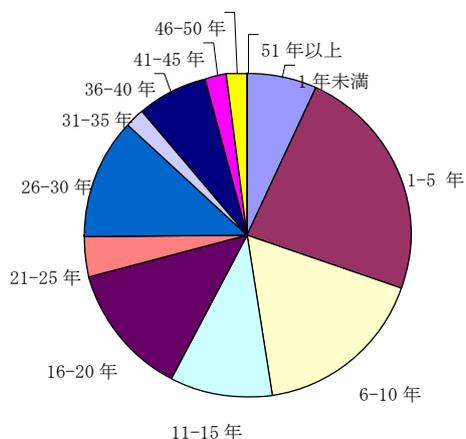


表 1、図 1 は、年齢についてみたものである。最も多かったのは「60-64 歳」で 36 人（36.4%）、次いで「55-59 歳」が多く、24 人（24.2%）となっている。50 歳代から 60 歳代の者を合計すると、9 割近くに達する。

表 2 問 2 あいりん地域で仕事をして何年くらいになりますか

	人数	割合
1 年未満	7	7.1
1-5 年	23	23.2
6-10 年	17	17.2
11-15 年	10	10.1
16-20 年	13	13.1
21-25 年	4	4.0
26-30 年	12	12.1
31-35 年	2	2.0
36-40 年	7	7.1
41-45 年	2	2.0
46-50 年	2	2.0
51 年以上	0	0.0
有効回答者数	99	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	99	

図 2 問 2 あいりん地域で仕事をして何年くらいになりますか



あいりん地域で仕事をして何年くらいになるかを問うたところ、最も多かったのは「1-5年」で、23人（23.2%）と2割を超えている（表2、図2）。次に多かったのが、「6-10年」で17人（17.2%）となっている。また、「11-15年」、「16-20年」、「26-30年」と回答した者も1割を超えており、一定数いることがわかる。

時期としては、バブル経済崩壊後にあいりん地域で仕事を始めた者が半数以上を占めている。さらに「36-40年」という者も7人いたが、これは大阪万博の時期を含んでおり、高度成長期後半から第一次オイルショックの時期にあたる。

表3 問3 現在、住んでいるのは、
あいりん地域内ですか

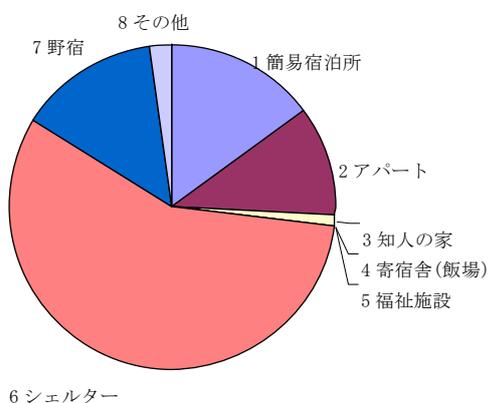
	人数	割合
はい	91	91.9
いいえ	8	8.1
有効回答者数	99	100.0
不明	0	
合計	99	

表3は、現在住んでいるのはあいりん地域内かを聞いた結果であるが、「はい」と回答した者が91人（91.9%）と9割を超えており、圧倒的多数を占めていることがわかる。

表4 問4 最近1ヶ月間に、一番多く
寝泊りしたのはどこですか

	人数	割合
1 簡易宿泊所	14	15.1
2 アパート	10	10.8
3 知人の家	1	1.1
4 寄宿舍(飯場)	0	0.0
5 福祉施設	0	0.0
6 シェルター	53	57.0
7 野宿	13	14.0
8 その他	2	2.2
有効回答者数	93	100.0
不明	6	
合計	99	

図3 問4 最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りした場所はどこですか



最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りした場所を問うたところ、最も多かったのが「シェルター」と回答した者で53人(57.0%)と5割5分を超えている(表4、図3)。続いて、多かったのは「アパート」、「野宿」と回答した者でそれぞれ14人(15.1%)、13人(14.0%)となっている。

表5 問5 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っていますか

	人数	割合
1 持っている	11	11.1
2 以前は持っていたが、今は持っていない	38	38.4
3 作ったことがない	50	50.5
有効回答者数	99	100.0
不明	0	
合計	99	

図4 問5 日雇雇用保険手帳（白手帳）を持っていますか

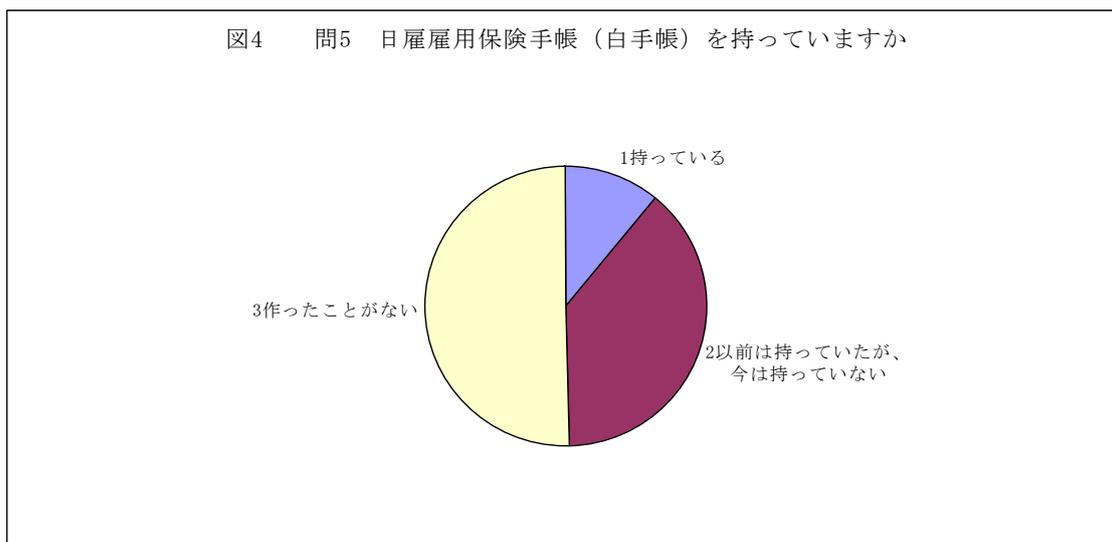


表 5、図 4 は日雇雇用保険手帳（白手帳）の所持について聞いた結果を示したものである。「作ったことがない」と答えた者が最も多く半数を占める。次に多かったのは「以前は持っていたが、今は持っていない」と答えた者で 4 割近くに上っており、最も少なかったのは「持っている」と答えた者で 1 割強となっている。

表 6 問 5-1 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っている場合の今月の認定資格

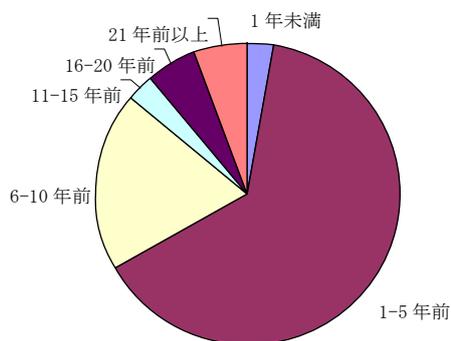
	人数	割合
有	1	9.1
無	10	90.9
有効回答者数	11	100.0
不明	0	
非該当	88	
合計	99	

日雇雇用保険手帳（白手帳）を所持していると回答した者に、今月の認定資格の有無を聞いたところ、「有」と回答した者が 1 人（9.1%）、「無」と回答した者が 10 人（90.9%）となっている（表 6）。今月の認定資格の無い者が 9 割強を占めていることがわかる。

表 7 問 5-2 日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた場合の何年前まで持っていたか

	人数	割合
1年未満	1	2.8
1-5年前	23	63.9
6-10年前	7	19.4
11-15年前	1	2.8
16-20年前	2	5.6
21年前以上	2	5.6
有効回答者数	36	100.0
不明	2	
非該当	61	
合計	99	

図 5 問 5-2 日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた場合の何年前まで持っていたか

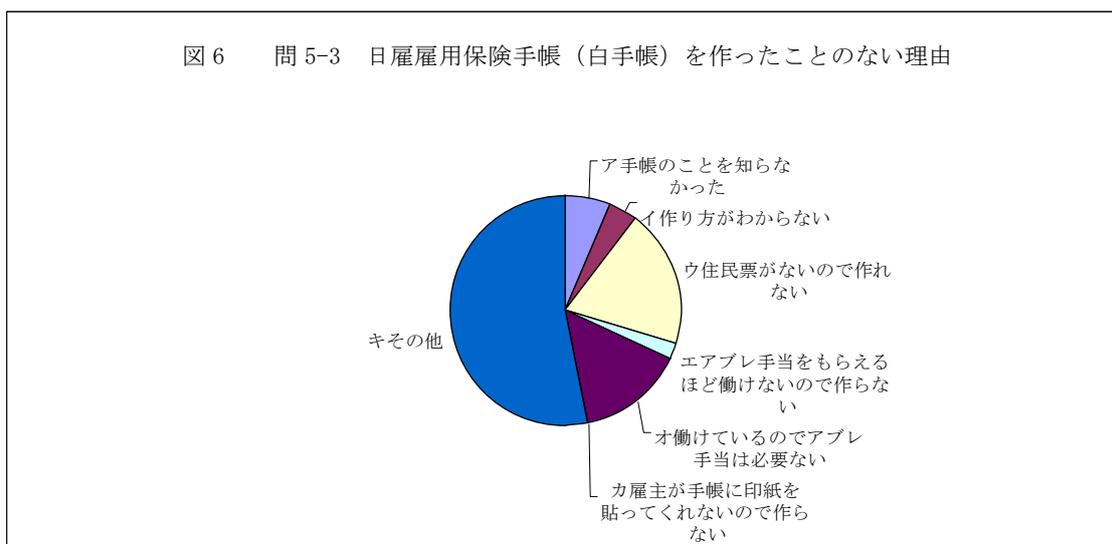


日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた者に、何年前まで持っていたのかを聞いたところ、「1-5年前」と回答した者が23人(63.9%)で6割強を占めている(表7、図5)。また、「6-10年前」と回答した者は7人(19.4%)みられ、2割を占めていることがわかる。これに「1年未満」と回答した者を加えて、この10年間で日雇雇用保険手帳(白手帳)を失った者を合計すると、8割5分に上っていることがわかる。

表 8 問 5-3 日雇雇用保険手帳(白手帳)を作ったことのない理由

	人数	割合
ア手帳のことを知らなかった	3	6.4
イ作り方がわからない	2	4.3
ウ住民票がないので作れない	9	19.1
エアプレ手当をもらえるほど働けないので作らない	1	2.1
オ働けているのでアプレ手当は必要ない	7	14.9
カ雇主が手帳に印紙を貼ってくれないので作らない	0	0.0
キその他	25	53.2
有効回答者数	47	100.0
不明	3	
非該当	49	
合計	99	

図 6 問 5-3 日雇雇用保険手帳(白手帳)を作ったことのない理由



日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた者に、今は持っていない理由を聞いたところ、「その他」が 25 人(53.2%)で 5 割強を占めている(表 8、図 6)。「その他」のうち、自由記述を得られたものをみると、「必要ない」、「作りたいと思わない」と回答している者がいる一方で、「基準や年齢が妨げになって作れなかった」と回答した者もいた。

「その他」の次に多かったものとして、「住民票がないので作れない」と回答した者が 9 人(19.2%)で 2 割近くに上っている点にも注意が必要である。

表 9 問 6-1 日雇健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	4	4.1
無	94	95.9
有効回答者数	98	100.0
不明	1	
合計	99	

表 10 問 6-2 建退共手帳に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	0	0.0
無	99	100.0
有効回答者数	99	100.0
不明	0	
合計	99	

表 11 問 6-3 国民健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	5	5.1
無	93	94.9
有効回答者数	98	100.0
不明	1	
合計	99	

表 12 問 6-4 国民年金に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	11	11.1
無	88	88.9
有効回答者数	99	100.0
不明	0	
合計	99	

問 6 では、日雇健康保険、建退共手帳、国民健康保険、国民年金への加入状況について質問している（表 9～12）。まず、日雇健康保険については、加入していない者が 94 人（95.9%）で 9 割 5 分を超えている。建退共手帳については、全員が加入していない。ま

た、国民健康保険については、加入していない者が 93 人（94.9%）で 9 割 5 分近くに上っている。さらに、国民年金については加入していない者が 88 人（88.9%）となっており、9 割近くが加入していない。総じて、いずれの制度にも加入していない者が圧倒的多数に上っているといえる。

表 13 問 7 この 3 ヶ月間の平均で、1 ヶ月あたり
どの程度の収入がありましたか。

	人数	割合
1 万円未満	16	17.0
1-5 万円台	50	53.2
6-10 万円台	16	17.0
11-15 万円台	10	10.6
16-20 万円台	2	2.1
21-25 万円台	0	0.0
26-30 万円台	0	0.0
31 万円以上	0	0.0
有効回答者数	94	100.0
不明	5	
非該当	0	
合計	99	

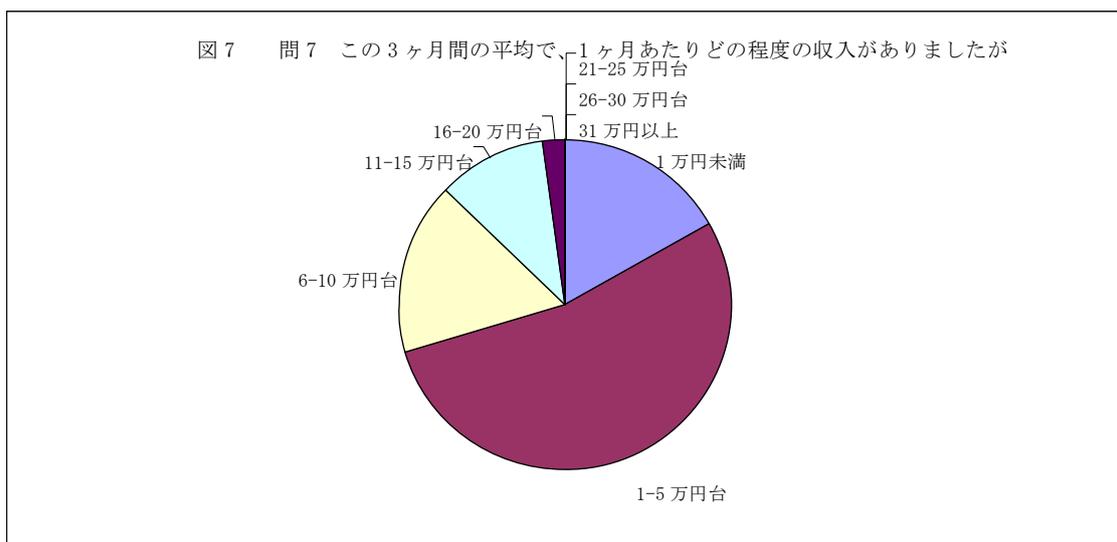


表 13、図 7 は、この 3 ヶ月間の平均で、1 ヶ月あたりどの程度の収入があったかについて聞いた結果を示したものである。最も多かったのは「1-5 万円台」と回答した者で 50

人（52.3%）と5割を超えている。次いで、「1万円未満」、「6-10万円台」と回答した者が多く、いずれも16人（17.0%）となっている。収入が5万円台以下の者を合計すると、7割近くに達していることがわかる。

表14 問8 ここ3ヶ月間で、現金や契約以外に、
他にはどのような仕事をしましたか(複数回答)

	人数	割合
①特別清掃	37	40.2
②アルミ缶回収等	24	26.1
③露天商	2	2.2
④謝礼的なもの	1	1.1
⑤特にない	34	37.0
⑥その他	14	15.2
有効回答数	120	130.4
有効回答者数	92	
不明	0	
生活保護受給	7	
合計	99	

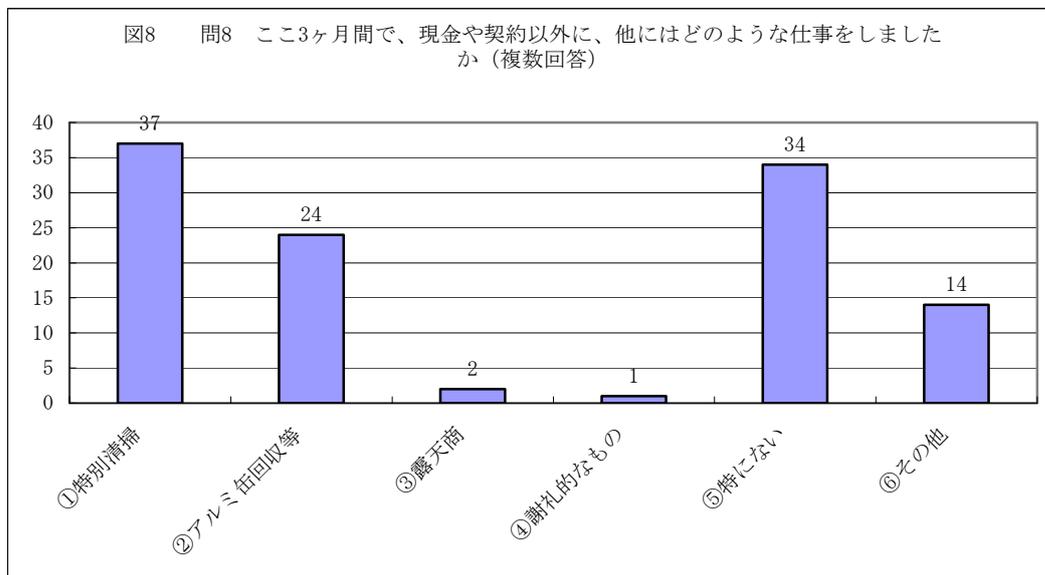


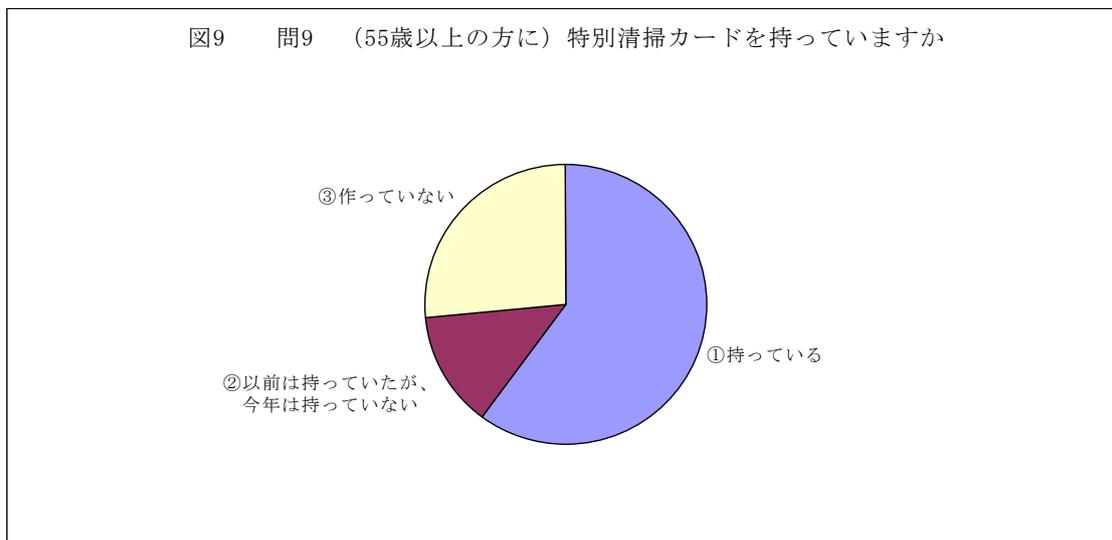
表14、図8は、ここ3ヶ月間で、現金や契約以外に、他にはどのような仕事をしたのかを複数回答で聞いた結果を示したものである。「特別清掃」と回答した者が最も多く37人（40.2%）で4割を超えている。続いて多かったのが、「特にない」、「アルミ缶回収等」

でそれぞれ 34 人 (37.0%)、24 人 (26.1%) となっている。

また、調査にあたって、一定数いるのではないかと思われた「特別清掃」と「アルミ缶回収等」を両方とも行っている者については、9 人みられた。これは特別清掃を行っている者の 24.3%にあたり、4 分の 1 ほどの者がアルミ缶回収などの廃品回収にも従事していることがわかる。

表 15 問 9 (55 歳以上の方に)特別清掃カードを持っていますか

	人数	割合
①持っている	45	60.0
②以前は持っていたが、今年を持っていない	10	13.3
③作っていない	20	26.7
有効回答者数	75	100.0
不明	0	
非該当	24	
合計	99	



55 歳以上の者に対して、特別清掃カードを有しているかどうかについて聞いたところ、「持っている」と回答した者が 45 人 (60.0%) で 6 割に達しており、最も多くなっている (表 15、図 9)。一方、「作っていない」と回答した者も 20 人 (26.7%) みられ、全体の 4 分の 1 強を占めている。

表 16 問 9-1 特別清掃カードを持っている方の輪番への参加状況

	人数	割合
ア いつも来る	38	84.4
イ たまに来る	5	11.1
ウ めったに来ない	2	4.4
その他	0	0.0
有効回答者数	45	100.0
不明	0	
非該当	54	
合計	99	

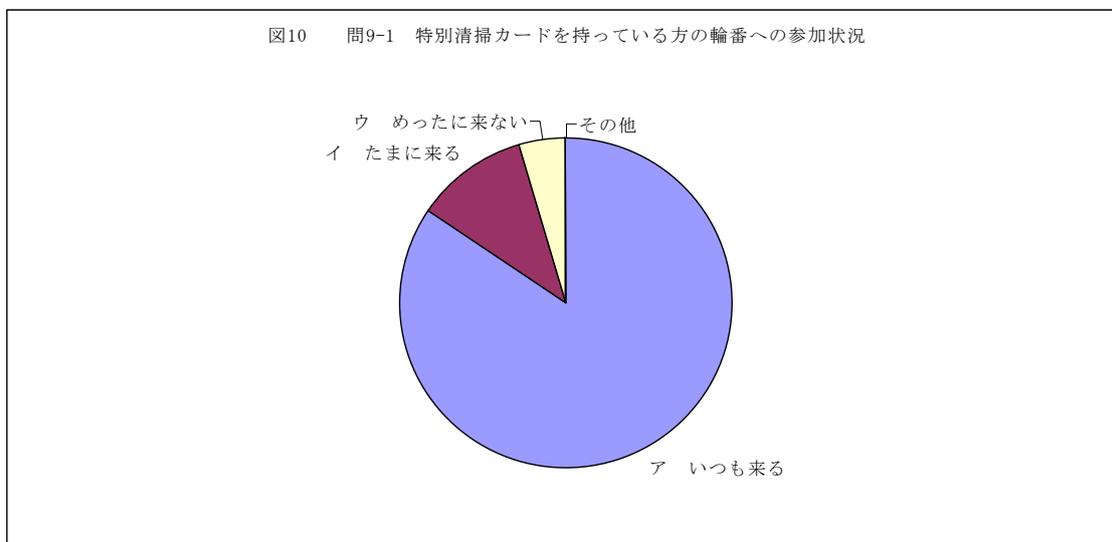


表 16、図 10 は、特別清掃カードを持っていると回答した者に対して、輪番への参加状況を聞いた結果である。これによると、「いつも来る」と回答した者が 38 人（84.4%）で圧倒的多数に上っている。

表 17 問 9-2 特別清掃カードを以前は持っていたが、今は持っていない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 生活保護受給	6	60.0
イ 切り替え時に西成にいなかった	1	10.0
ウ 特別清掃の仕事が向いていない	0	0.0
エ その他	3	30.0
有効回答数	10	100.0
有効回答者数	10	
不明	0	
非該当	89	
合計	99	

図11 問9-2 特別清掃カードを以前は持っていたが、今はもっていない理由

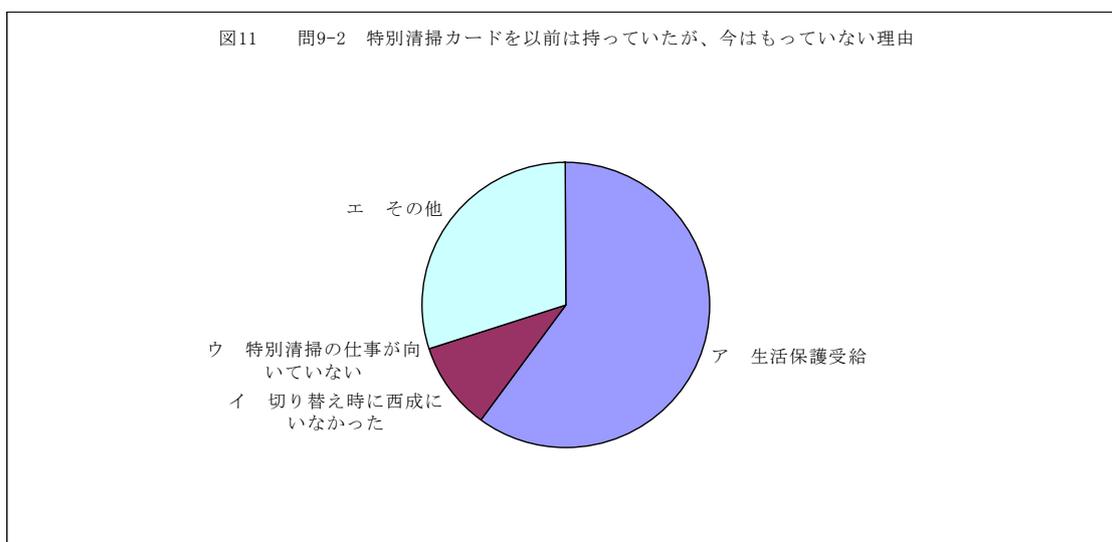
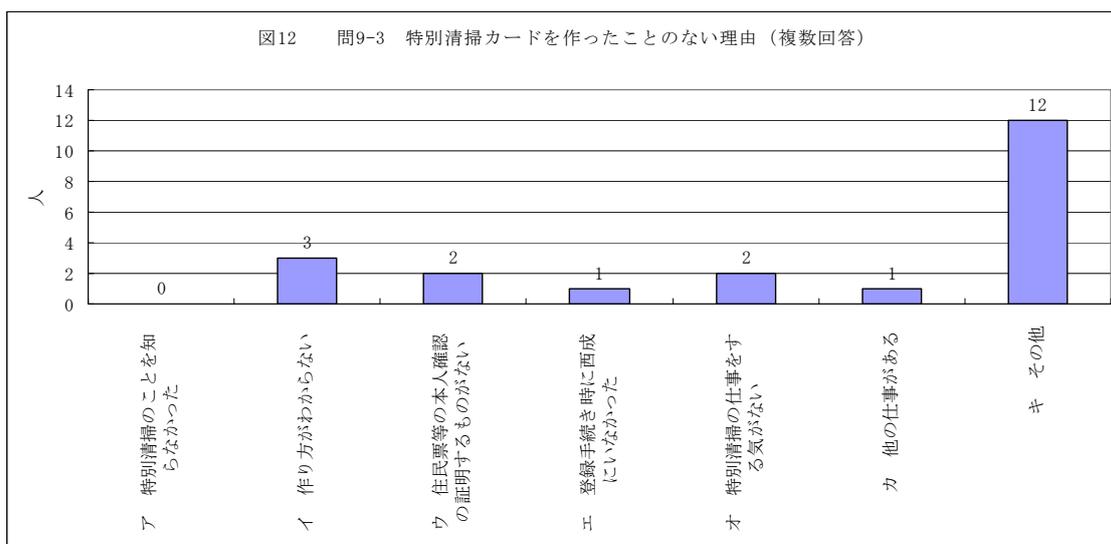


表 17、図 11 は、特別清掃カードを以前は持っていたが今は持っていないと回答した者に対して、その理由を問うた結果を示したものである。これによると、「生活保護受給」と回答した者が最も多くて 6 人みられる。以前は、特別清掃カードを持っていたものの、生活保護の受給にともない手放した者が相対的に多いことがわかる。

表 18 問 9-3 特別清掃カードを作ったことのない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 特別清掃のことを知らなかった	0	0.0
イ 作り方がわからない	3	15.0
ウ 住民票等の本人確認の証明するものがない	2	10.0
エ 登録手続き時に西成にいなかった	1	5.0
オ 特別清掃の仕事をする気がない	2	10.0
カ 他の仕事がある	1	5.0
キ その他	12	60.0
有効回答数	21	105.0
有効回答者数	20	
不明	0	
非該当	79	
合計	99	



特別清掃カードを作ったことがないと回答した者に、その理由を複数回答で問うた結果を示したものが表 18、図 12 である。「その他」と答えた者が 12 人 (60.0%) となっており、6 割を占めている。「その他」の内訳をしてみると、「作らなくてもやっていける」、「必要ない」と「自分の意思でカードを作っていない」と回答する者もいる一方で、「病気のため仕事ができない」、「締め切りに間に合わなかった」などの理由で作れなかったと回答した者もみられた。

また、「その他」の次に多かった「作り方がわからない」と回答した者は 3 人 (15.0%) みられる。

表 19 問 10 昼間、センターのこの場所をよく利用していますか

	人数	割合
①はい	90	90.9
②いいえ(今日はたまたま)	9	9.1
有効回答者数	99	100.0
不明	0	
合計	99	

表 19 は、昼間、センターのこの場所をよく利用しているかどうかを聞いた結果を示したものである。これによると、「はい」と回答した者が 90 人 (90.9%) で 9 割を超えて、圧倒的多数に達していることがわかる。

表 20 問 11 センターを、週に何日くらい利用していますか

	人数	割合
1 日	2	2.4
2-3 日	18	21.4
4-5 日	10	11.9
6-7 日	54	64.3
有効回答者数	84	100.0
不明	14	
非該当	1	
合計	99	

図13 問11 センターを、週に何日くらい利用していますか

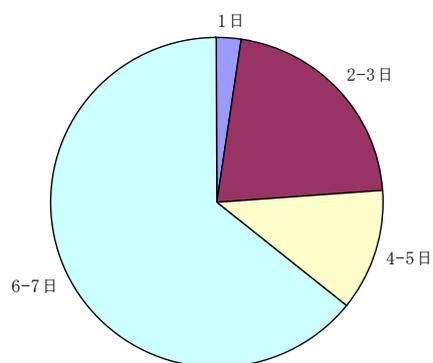


表 20、図 13 は、センターを、週に何日くらい利用しているかを聞いた結果を示したものである。これによると、「6-7 日」と回答した者が最も多く、54 人（64.3%）で 6 割 5 分近くに達していることがわかる。これに「4-5 日」と回答した者の数を合計し、一週間のうち 4 日以上センターに来る者を見てみると、7 割 5 分を超えている。

表 21 問 12 この寄場施設では、どのようにすごしていますか(複数回答)

	人数	割合
①囲碁・将棋	16	16.2
②昼寝	45	45.5
③仲間との話・雑談	45	45.5
④新聞・雑誌を読む	44	44.4
⑤食事をする	44	44.4
⑥お酒を飲む	24	24.2
⑦トイレを使う	58	58.6
⑧洗濯をする	28	28.3
⑨シャワールームを使う	28	28.3
⑩食堂・売店に行く	31	31.3
⑪理髪店に行く	15	15.2
⑫あいりん職安での手続・相談(アブレ手当や白手帳)	12	12.1
⑬健康保険(保険証)の手続き	2	2.0
⑭なんとなく	32	32.3
⑮その他	6	6.1
有効回答数	430	434.3
有効回答者数	99	
不明	0	
合計	99	

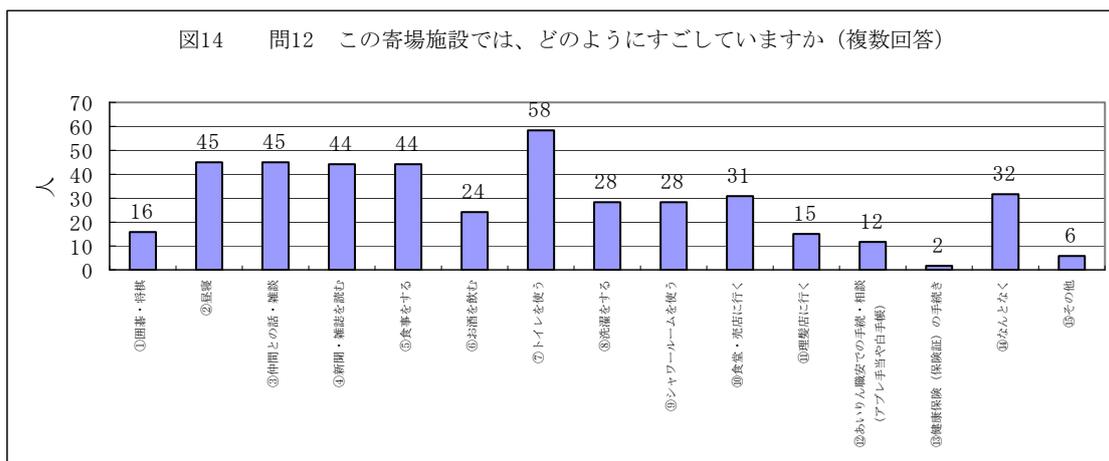


表 21、図 14 は、寄場施設でどのようにすごしているかを、複数回答で聞いた結果を示したものである。これによると、最も多かったのは「トイレを使う」で 58 人 (58.6%) となっている。続いて相対的に多かったのは、「昼寝」、「仲間との話・雑談」、「新聞・雑

誌を読む」、「食事をする」で、それぞれ 45 人 (45.5%)、45 人 (45.5%)、44 人 (44.4%)、44 人 (44.4%) といずれも 4 割 5 分に上っている。

表 22 問 13-ア 西成センターの窓口を、仕事探しに関すること(職業紹介事業)で利用していますか

	人数	割合
している	56	57.1
していない	42	42.9
有効回答者数	98	100.0
不明	1	
合計	99	

表 22 は、西成センターの窓口を、仕事探しに関すること（職業紹介事業）で利用しているかどうかを聞いた結果を示したものである。「している」と回答した者が 56 人 (57.1%)、「していない」と回答した者が 42 人 (42.9%) を占めている。仕事探しに関すること（職業紹介事業）で西成センターの窓口を利用している者が 5 割 5 分を超えていることがわかる。

表 23 問 13-イ 西成センターの窓口を、仕事でのトラブルや身のまわりの相談(労働者福祉事業)で利用していますか

	人数	割合
している	38	39.2
していない	59	60.8
有効回答者数	97	100.0
不明	2	
合計	99	

表 23 は、西成センターの窓口を、仕事でのトラブルや身のまわりの相談（労働者福祉事業）で利用しているかどうかを聞いた結果を示したものである。「している」と回答した者が 38 人 (39.2%)、「していない」と回答した者が 59 人 (60.8%) を占めている。仕事でのトラブルや身のまわりの相談（労働者福祉事業）で西成センターの窓口を利用している者が 4 割近くに達していることがわかる。

表 24 問 13-ウ 西成センターの窓口を、技能講習で
利用していますか

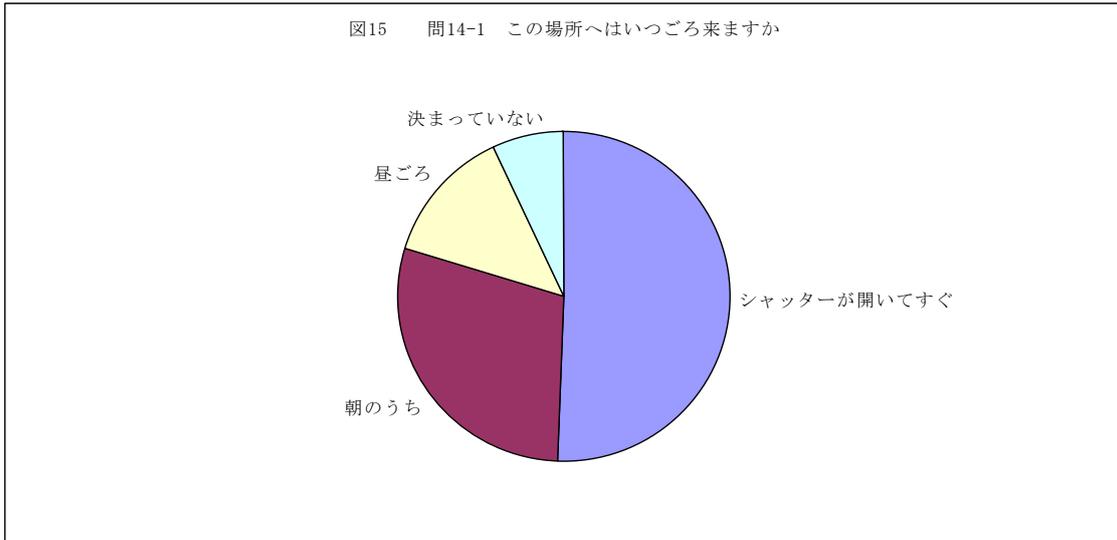
	人数	割合
している	13	13.4
していない	84	86.6
有効回答者数	97	100.0
不明	2	
合計	99	

表 24 は、西成センターの窓口を、技能講習で利用しているかどうかを聞いた結果を示したものである。「している」と回答した者が 13 人 (13.4%)、「していない」と回答した者が 84 人 (86.6%) を占めている。技能講習で西成センターの窓口を利用している者が、1 割 5 分近くに上っていることがわかる。

表 25 問 14-1 この場所へはいつごろ来ますか

	人数	割合
シャッターが開いてすぐ	50	50.5
朝のうち	29	29.3
昼ごろ	13	13.1
決まっていない	7	7.1
有効回答者数	99	100.0
不明	0	
非該当	0	
合計	99	

図15 問14-1 この場所へはいつごろ来ますか

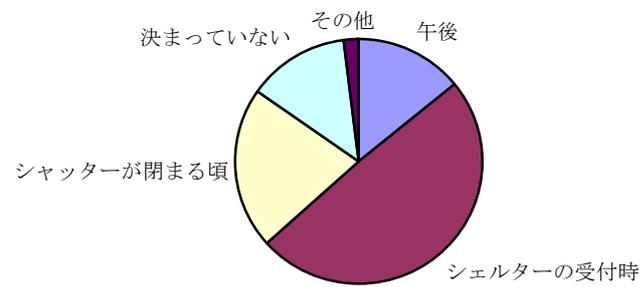


この場所へ一日のうちのいつごろ来るかを聞いた結果を示したものが、表 25、図 15 である。「シャッターが開いてすぐ」と回答した者が 50 人 (50.5%) で過半数を占めている。また、次に多かったのは、「朝のうち」と回答した者で 29 人 (29.3%) で 3 割近くに上っている。朝のうちまでに来る者だけで、実に 8 割近くに達していることがわかる。

表 26 問 14-2 この場所からいつごろ帰りますか

	人数	割合
午後	14	14.3
シェルターの受付時	48	49.0
シャッターが閉まる頃	21	21.4
決まっていない	13	13.3
その他	2	2.0
有効回答者数	98	100.0
不明	1	
非該当	0	
合計	99	

図16 問14-2 この場所からいつごろ帰りますか



この場所からいつごろ帰るかを聞いた結果を示したものが、表 26、図 16 である。「シェルターの受付時」と回答した者が 48 人（49.0%）で最も多く半数近くを占めている。次に多かったのが「シャッターが閉まる頃」で 21 人（21.4%）で 2 割強を占めている。この二つの項目を合計すると 7 割を超えていることがわかる。シェルターの受付時、シャッターが閉まる頃までにいるということは、夕方までこの場所にいることを意味しているといえる。

表 27 問 15-1 昔一番よくした仕事(本職)は、
どのような仕事でしたか(複数回答)

	人数	割合
①建設労働	53	55.2
土工	32	33.3
とび工	4	4.2
鉄筋工	4	4.2
型枠大工	1	1.0
解体工	4	4.2
重機OP	0	0.0
職長	0	0.0
その他職人	9	9.4
不明	2	2.1
②製造業	11	11.5
③運輸業	2	2.1
④警備業(交通整理)	0	0.0
⑤清掃業	0	0.0
⑥その他	30	31.3
有効回答数	96	100.0
有効回答者数	96	
不明	3	
合計	99	

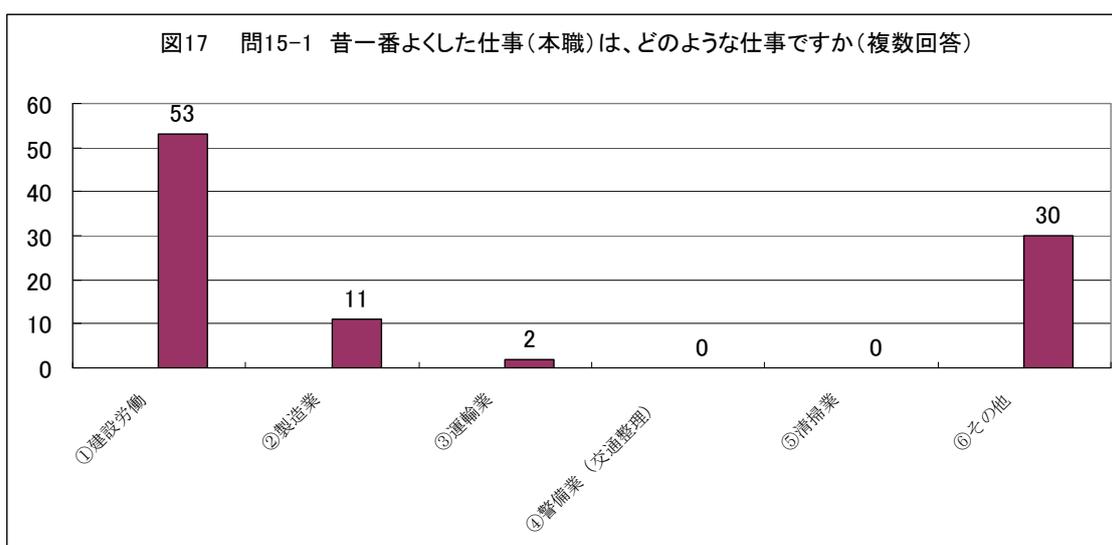


表 27、図 17 は、昔一番よくした仕事（本職）はどのような仕事であったかを聞いた結果を示したものである。「建設労働」と回答した者が最も多く 53 人（55.2%）で 5 割 5 分を超えている。また、「建設労働」の内訳としては、「土工」と回答した者が多くなっている。

表 28 問 15-2 最近までしていた仕事は何ですか
（複数回答）

	人数	割合
①建設労働	47	51.1
土工	34	37.0
とび工	1	1.1
鉄筋工	1	1.1
型枠大工	0	0.0
解体工	3	3.3
重機OP	0	0.0
職長	0	0.0
その他職人	7	7.6
不明	1	1.1
②製造業	4	4.3
③運輸業	1	1.1
④警備業(交通整理)	9	9.8
⑤清掃業	5	5.4
⑥その他	25	27.2
仕事はなかった	4	4.3
有効回答数	95	103.3
有効回答者数	92	
不明	7	
合計	99	

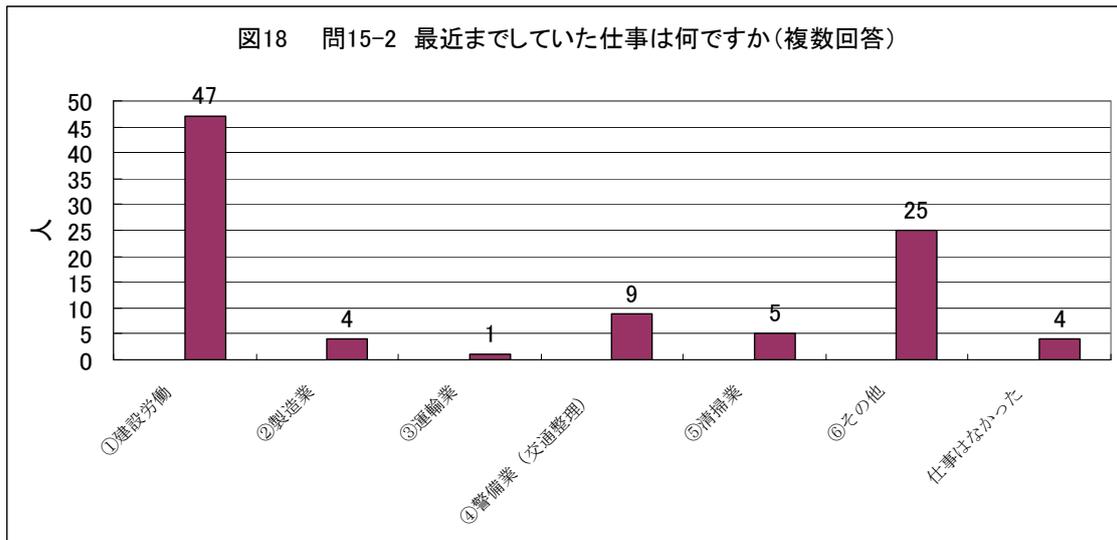


表 28、図 18 は、最近までしていた仕事はどのような仕事であったかを聞いた結果を示したものである。「建設労働」と回答した者が最も多く 47 人 (51.1%) で 5 割を超えている。また、「建設労働」の内訳としては、「土工」と回答した者が多くなっている。

表 29 問 16-1 その仕事は今も続けていますか

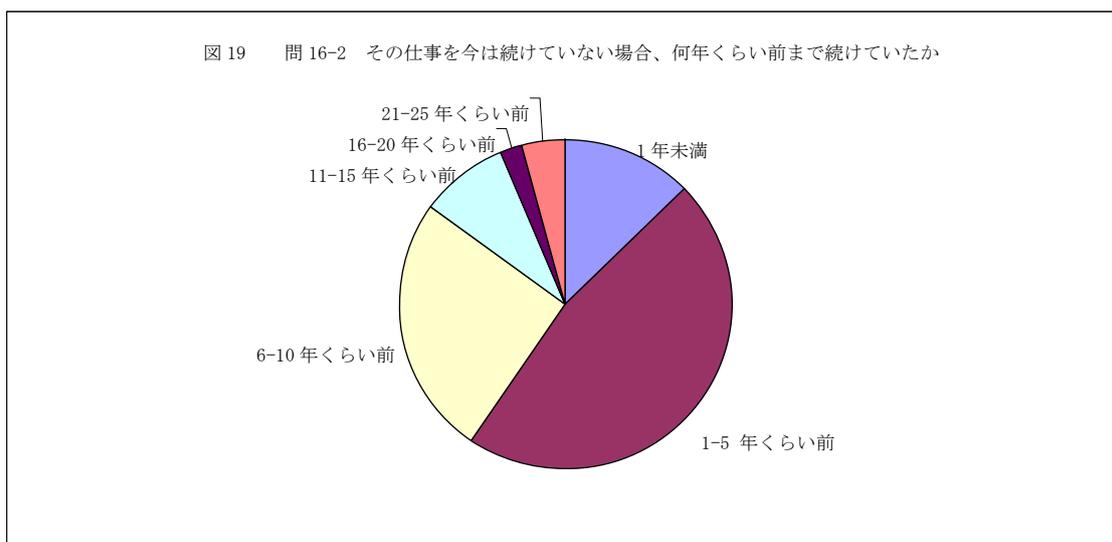
	人数	割合
はい	44	44.4
いいえ	55	55.6
有効回答者数	99	100.0
不明	0	
合計	99	

その仕事を今も続けているかどうかを聞いた結果を示したのが、表 29 である。「はい」と回答した者が 44 人 (44.4%)、「いいえ」と回答した者が 55 人 (55.6%) を占めている。その仕事を今も続けている者が 4 割 5 分近くに上っていることがわかる。

また、この質問について「はい」と回答した者が、問 15 ではどのような仕事をしていると回答していたのかをみると、「建設労働」と回答した者が最も多く、27 人 (61.4%) と 6 割を超えている。次に多かったのが、「その他」と回答した者で 11 人 (25.0%) と 2 割 5 分となっている。

表 30 問 16-2 その仕事を今は続けていない
場合、何年くらい前まで続けていたか

	人数	割合
1年未満	6	12.8
1-5年くらい前	22	46.8
6-10年くらい前	12	25.5
11-15年くらい前	4	8.5
16-20年くらい前	1	2.1
21-25年くらい前	2	4.3
有効回答者数	47	100.0
不明	8	
非該当	44	
合計	99	



その仕事を今は続けていないと回答した者に対して、では何年くらい前まで続けていたのかを聞いた結果を示したのが表 30、図 19 である。「1 - 5 年くらい前」と回答した者が最も多く 22 人 (46.8%) で 4 割 5 分を超えている。ついで、「6 - 10 年くらい前」と回答した者が多く、12 人 (25.5%) で 2 割 5 分を超えている。また、「1 年未満」と回答した者も 6 人 (12.8%) となっている。この 10 年くらい前まで仕事を続けていた者が、8 割 5 分を超えていることがわかる。